

中期経営計画

(2021年4月～2024年3月)



 大阪港埠頭株式会社
Osaka Port Corporation

目次

はじめに	P2
I 経営理念	P3
II 経営方針	P4
III 主な取り組み	P5 ~6

(表紙：大阪港紋章は大阪港湾局提供)

はじめに

大阪市を核とする近畿圏は、人口2,000万人を超える一大生産・消費圏を形成し、首都圏とともに我が国の産業経済活動の中核となっており、大阪港は、その中心に位置し、海陸空を結ぶ拠点として重要な役割を担っております。

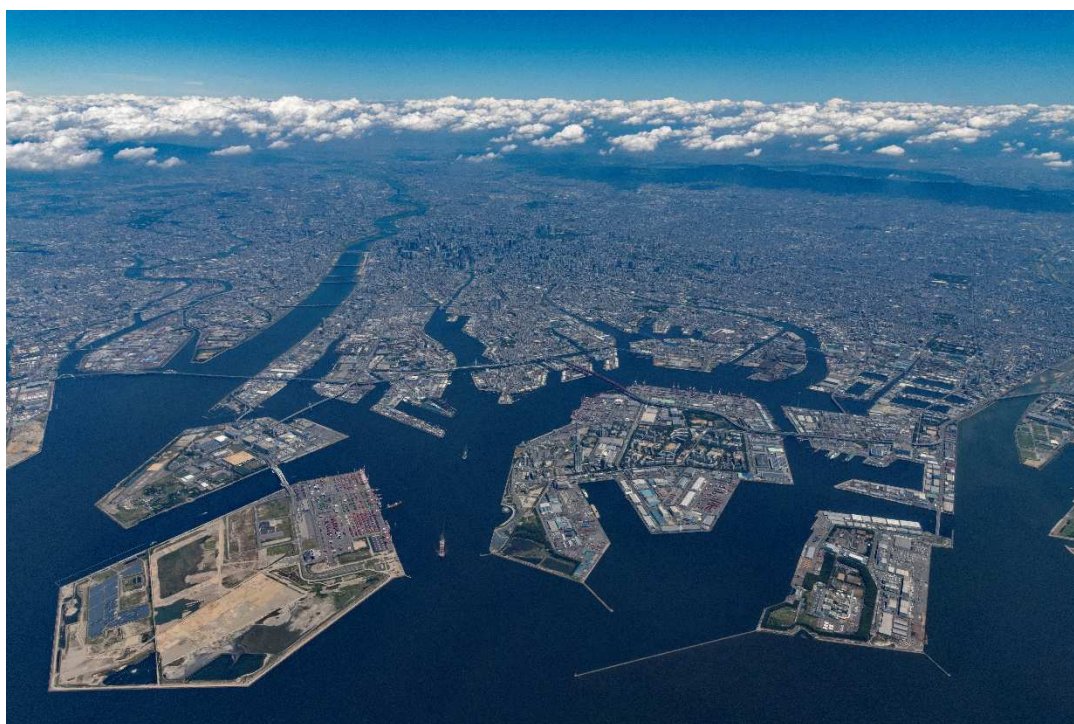
大阪港埠頭株式会社は、「国際コンテナ戦略港湾」政策のもと、平成26年10月に神戸港埠頭株式会社とともに、会社分割により阪神港を一元的に運営する主体として阪神国際港湾株式会社(HPC)を設立いたしました。

これにより、当社が実施してきた外貿埠頭・フェリー埠頭の運営についてはHPCに承継し、当社は保有資産の建設、整備及び維持管理の主体としての役割を果たしていくとともに、HPCと連携して大阪港の発展に寄与していくこととなりました。

現下、新型コロナウイルス感染症の流行拡大が社会経済活動全般に及んでおり、加えて台風をはじめとする大規模な自然災害の増加など不安定な要素が膨らんでおり、経営への影響が懸念されるところです。

このような状況の中、当社が財務基盤を強化し埠頭施設の改良などに努めることが大阪港の利用を促進し、ひいては、大阪港が関西の総合物流拠点としてその役割を担うことにつながるものと考えております。

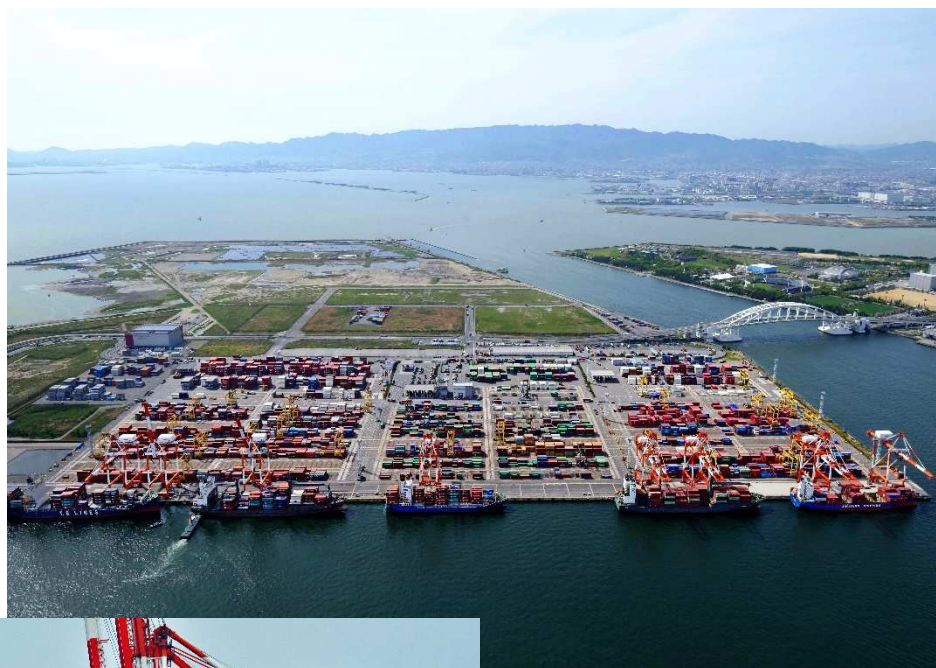
こうした当社を取り巻く状況の変化を踏まえ、今後3年間における大阪港埠頭株式会社の事業について、その方向性と取り組み内容を中期経営計画として示すものであります。



大阪港全景

I. 経営理念

大阪港において、当社は外貿埠頭及びフェリー埠頭を保有し港湾物流の中核を担っているところではありますが、港湾運営会社である阪神国際港湾株式会社とともに、埠頭施設の充実並びに機能強化に取り組むことで、関西経済の発展に寄与してまいります。また、大阪港湾局をはじめとする関係機関と連携して大阪港の利用を促進し、その魅力向上をはかることにより活性化に貢献してまいります。



コンテナ埠頭(C10・C11・C12)

Ⅱ. 経営方針

(1) 埠頭施設の建設改良及び維持管理

国際コンテナ戦略港湾「阪神港」を運営する「阪神国際港湾株式会社」とともに、大阪港の物流機能の強化を図っていくため、外貿埠頭やフェリー埠頭施設の適切な建設、改良、維持、管理運営を行うことにより、安定的な経営を図るとともに、災害等に備えた施設管理の取り組みを継続しながら阪神港の一員として、国際コンテナ戦略港湾政策の推進に取り組みます。

(2) 大阪港の活性化に向けた事業の推進

万博の開催準備・IRの誘致が進む臨海地域は、現在、関西で最も注目を浴びている地域です。その発展に向けて大阪港湾局と協働して、大阪港の魅力向上、活性化への支援を進めるため、当社の事業基盤の強化を図るとともに、大阪港の振興・賑わい創出等に繋がる取り組み方を進めてまいります。

(3) 財政基盤の確立と人材の育成並びに活用

将来にわたり健全な経営基盤を確立するため、財源の確保と財務基盤の強化を図るとともに、これを支える人材の育成等を図ります。



コンテナ埠頭(C1~4、C8・9)

Ⅲ. 主な取り組み

(1) 埠頭施設の建設改良及び維持管理

1 阪神国際港湾株式会社(HPC)と連携した保有施設の建設・改良・管理

建設改良工事を適切に実施することで、保有施設の機能向上に努めるとともに、コンテナターミナル効率化の検討を行い、物流機能の向上に貢献する。

2 適切な維持管理の継続実施

計画的な補修を行い、施設を良好な状態に保つ。

3 災害等に備えた施設管理の取り組み

大型台風や南海トラフ地震等の大規模自然災害、新型コロナウイルス等感染症の蔓延などの状況に備えるため、国や大阪港湾局等関係機関と連携して、施設面も含めた適切な対応策を構築する。

(2) 大阪港の活性化に向けた事業の推進

1 大阪港湾局の取り組みを補完するきめ細かなポートセールスの実施

コンテナ埠頭、ライナー埠頭、フェリー埠頭の更なる利用拡大を目指し、大阪港湾局をはじめとする関係機関と連携した営業活動に取り組むなど、物流機能の向上を目指し、きめ細かなポートセールス活動を実施する。

2 食の輸出促進事業の実施

今後の成長が見込める農林水産物・加工食品の輸出促進に向けた取組みを実施する。

3 大阪港の魅力向上に向けたクルーズ客船誘致

大阪港の魅力向上や大阪経済の活性化に向けたクルーズ客船の寄港隻数の増加を目指して、大阪港湾局、関係機関などと連携して、船会社や代理店等関係者への積極的な営業活動に取り組む。



天保山西岸壁

(3) 財政基盤の確立と人材の育成並びに活用

1 財政基盤の確立・健全な財務状況の維持

適切な資産管理等に努め、事業運営を支える財務基盤の強化をはかる。

2 人材育成等

健康管理を念頭に柔軟な勤務体制や就業環境を整備することで時代の変化に応じた組織とする。

港湾施策についての見識を持った人材を育成し、機動的・継続的な活動を行うことで、大阪港の活性化・魅力向上に寄与する。



ぱしふいっくびいなす



フェリー埠頭(F1~4)



フェリー埠頭(R3~5)